

2015年11月5日

富士重工業 2016年3月期 第2四半期連結業績の概要**<2016年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>**

スバル車の全世界販売台数は、前年同期比9.4%増の472千台となりました。国内販売では、軽自動車では前年を上回ったものの、新車効果の薄れた登録車が前年を下回り、同7.0%減の67千台となりました。一方、海外販売では北米を中心にレガシィ/アウトバックが引き続き好調に推移し、海外合計では同12.7%増の406千台となりました。

連結売上高は、為替変動や販売台数の増加等により、同22.2%増の1兆6,015億円となりました。

なお、全世界販売台数は第2四半期累計期間として過去最高^{*1}、また、海外販売台数、北米販売台数、連結売上高については全ての半期を通じて過去最高^{*1}となりました。

<2016年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

連結損益は、諸経費等ならびに試験研究費の増加を、為替変動や販売台数の増加、原価低減の進捗等によりカバーし、営業利益が前年同期比53.6%増となる2,851億円となりました。経常利益は同62.0%増の2,850億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同70.9%増の1,932億円となりました。

なお、当期業績において、各利益段階のいずれも全ての半期を通じて過去最高^{*1}となりました。

<2016年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、連結売上高3兆2,100億円、営業利益5,500億円、経常利益5,470億円、親会社株主に帰属する当期純利益3,720億円に上方修正します。原価低減の進捗や為替変動、販売台数の増加などを織り込み、前回見通しを上回る計画です。

なお、北米販売台数は7期連続で過去最高^{*2}、全世界販売台数、海外販売台数、売上高、各利益段階のいずれも4期連続での過去最高^{*2}となる見通しです。

通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥120/US\$、¥133/EUROです。

また、第2四半期累計期間業績ならびに通期連結業績見通しを踏まえ、第2四半期末及び期末の1株当たりの配当を72円とします。この結果、1株当たりの年間配当金は、前期実績68円より76円増配の144円となる予定です。

※前回（2015年7月31日）公表の通期連結業績見通し

連結売上高3兆300億円、営業利益5,030億円、経常利益4,950億円、
親会社株主に帰属する当期純利益3,370億円、
想定為替レート ¥118/US\$、¥127/EURO

*1：中間連結決算の開示を始めた2001年3月期以降の過去最高

*2：通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。